

日時：昭和60年7月13日(土) 13:30~16:30  
 場所：東京工業大学システム科学専攻ゼミ室(長津田)  
 出席者：26名 テーマ：「OR実施研究の基本方向」  
 講師：松田武彦(東京工業大学)

本講演で松田先生はOR実施研究に対して7つの基本方向を提示した。そこではOR実施を、①循環過程として、②心的風土の問題として、③組織風土の問題として、④組織動態の問題として、⑤OR環境の問題として、⑥OR資源の問題として、⑦ORプロジェクトの問題として研究する方法についてより具体的に実例を示しながら、研究の体系が示された。これらをもとに今後の部会の方角づけが議論された。

●第5回

日時：昭和60年9月7日(土) 13:30~16:30  
 場所：東京工業大学システム科学専攻ゼミ室(長津田)  
 出席者：15名 テーマ：文献紹介「An Assessment of Systems Methodology and Design」by Gerald Nadler, Proceeding of 1985 SGSR Meeting

講師：太田敏澄(豊橋技術科学大学)

太田先生より1985年SGSR(Society for General Systems Research)の会議で報告されたナドラーの文献の紹介がなされた。ナドラーはこの文献によって近年のシステム方法論、設計論についての評価を行ない、ナドラーのシステム方法論および設計(Systems methodology and Design(SMD))の考え方を提示した。この報告にもとづきシステム設計論の討議がなされた。

会合記録

( ) は出席者人数

支部長会議	10月1日(火)(14)
モニター会議	10月3日(木)(12)
広告委員会	10月8日(火)(3)
編集委員会(OR)	10月9日(水)(8)
普及小委員会	10月21日(月)(7)
研究小委員会	10月25日(金)(5)

入退会

(60.7.27~9.20)

●移動(学生会員→正会員)

枝廣 正人	東京大学	→日本電気㈱
奥原 英彦	東京工業大学	→㈱フジミック
栗原 浩一	北海道大学	→日本鉱業㈱
桜井 昭	埼玉大学	→㈱日本科学技術研修所
武田 晋	東京大学	→東京電力㈱
松下 芳生	筑波大学	→太陽工業㈱
松丸 正延	早稲田大学	→千葉工業大学
横山 一郎	東京工業大学	→三菱化成工業㈱
吉田 嘉昭	東海大学	→日本電気㈱
小久保岩生	東京大学	→㈱三菱総合研究所
田中 啓之	慶応義塾大学	→郵政省

編集後記▶日本人はイベント好き、科学万博やオリンピックなどがはじまると熱くなります。しかし、イベントの質のほうとなれば、一朝一夕で良くなるものでもありません。イベントそのものには衆目が集まりますが、それ以外は無関心です。平日の博物館は閑子鳥が鳴いているのに、万博会場は超満員、ふだんはわが子には運動を控えさせても塾通いさせているのに、オリンピックとなると日本選手層の薄さに憤慨するのが日本人の典型のよ

うです。イベントは当日より、それ以前が大切なのではないのでしょうか。「万博」がやってきてからでは遅く、急に科学の最先端をわかりやすい遊びの形で表わそうとしても、奇をてらったものになり、科学的考え方そのものを遊びにするようなイベントが育ちにくい気がします▶ORを楽しむ心、ORと遊ぶ心が育つ誌面作りに励みたいと考えています。ORを楽しくする記事を歓迎します。気軽にご寄稿くださることを期待いたします。(I)

オペレーションズ・リサーチ

昭和60年12月号 第30巻(新シリーズ第10巻) 12号 通巻300号  
 代表者 近藤次郎  
 発行所 社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
 (電話 03-815-3351~2) 〒113  
 編集人 柳井 浩  
 発売所 株式会社 日科技連出版社  
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円(郵送料含)年間予約購読料 9800円(郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(571-2548)、日経弘報社(563-2241)へ